

## 第 408 回 例 会

22年4月2日

## 本日のプログラム

- ・ソング 「奉仕の理想」
- ・卓話 近藤 嘉一 会員  
研究開発のお話 Part8  
「研究開発部門に影響を及ぼす社会環境」
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 3階「飛鳥の間」
- ・第9回理事会 13:40～ 4階「萩の間」

## 次回(4月9日)のプログラム

- ・ソング 「われら日本ロータリアンの歌」
- ・卓話 豊島 秀郎 会員  
「伏見に住んでみて」
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 3階「飛鳥の間」

## 4月の創立記念日

- ・1日 (株)友電舎 秋山 千尋 会員
- ・1日 太田・柴田・林 法律事務所 柴田 龍彦 会員
- ・1日 ソニー生命保険(株) 笹田 隆志 会員
- ・1日 NPOフレンドリー情報センター 吉田 正信 会員
- ・28日 (株)グルマンディーズ 久保田 秀一 会員

## 4

- ・2日 洋食
- ・9日 ビーフカレー
- ・16日 夜例会
- ・23日 フィッシャーマンズピラフ

## 先週(3月19日)の例会報告

## ■会長の時間

大谷ガバナーは、奉仕の理想とは地域のニーズをくみ取りそのニーズを満たす形での奉仕活動を行うものであると述べられています。そこで当クラブの地域でありユニバーサルスタジオがある此花区についてお話します。

此花区は、工場が多くそこで働く人たちがもともと多く住んでいました。しかし交通が不便で余所から人が入ってくる人が少なく、どちらかといえば閉鎖的な地域です。しかも人口の高齢化が進んでいるということです。

此花区のある会社の役員をロータリーに勧誘しようと考えて訪問しました。そこで話して分かったことですが、此花区ではライオンズクラブの勢力が強く、此花区内で主だった人の多くがライオンズクラブの会員であるということでした。此花区とライオンズクラブが一体化しているという印象を受けたくらいです。ロータリーの知名度はかなり低いものでした。そこでなんとか此花区内にも地盤を築きたいと考えた次第です。

昨年は此花消防署から此花区民まつりにおける協力の依頼がありましたので、寄付という形で協力しましたが、今後とも此花区内への浸透を進めていき、ニーズを汲み取るようにしたいと思います。

【来客紹介】 2名

【出席報告】

22年3月19日(第407回例会)				
会員総数	出席免除会員	出席会員	欠席会員	出席率
29名	1名	18名	10名	64.29%

【幹事報告】

【メールBOXへ配布】 週報のみの配布です

【回覧資料】

- 1)海の子学園広報紙「うみっこ15号」
- 2)米山梅吉記念館 館報2010春
- 3)ハイライトよねやま121号
- 4)カンボジアプロジェクト「グラフィス診療所建設状況報告」

## ニコニコ箱(3月19日)

秋山 千尋 =長期違った環境で生活するとリズムがくるい、元に戻るのに時間が掛かりますね。年は取りたくないものですね。

東 健三 =井上ガバナー補佐・山田ガバナー補佐エレクト、ご訪問ありがとうございます。今日はよろしくお願ひ致します。

池山 博文 =不肖の息子が8年かかって大学をやっと卒業できることが決まりました。

ホッとひと安心ですがどこかに就職口はないでしょうか？

川上 大雄 =もうからんの忙しんです。

小林 知義 =ちょっと嬉しいことがありました。

昨日、我々の高校の後輩、新田君がパラリンピックで金メダルを取りました。彼は私達の誇りです。

森本 良嗣 =井上ガバナー補佐、山田ガバナー補佐エレクト、今日はようこそおいで下さいまして有難うございます。

ご指導よろしくお願いします。

中井 周治 =今日は息子が友達とUSJへ遊びに行きました。好天に恵まれて良かったです。

斧原 邦夫 =今日は井上ガバナー補佐、山田ガバナー補佐エレクトのご来場心から歓迎致します。

ご指導の程、宜敷くお願い致します。私達のクラブは今これからです・・・。

小山田光正 =明日、グランキューブ大阪で、20・21日生物多様性Expoに出展しています。時間があれば遊びに来て下さい。

【SAA報告】	ニコニコ箱	本日計 9000円	今年度合計 3554434円
---------	-------	-----------	----------------

## クラブフォーラム(3月19日)

ジャンプ40特別委員会 森本 良嗣 委員長

井上ガバナー補佐、山田ガバナー補佐エレクトお忙しい中ありがとうございます。

今日はジャンプ40特別委員会報告。今後のご協力をお願いをさせていただきます。前半は、私から会員増強。後半は、池山幹事からHP完成についてをお話下さいます。まず始めに、この委員会は柴田会長が三ヶ年中期計画で、何としても、40人の会員数達成を目指す為に強い強い意志の基に作られました。何故ジャンプ40を達成せねばならないのか、そのためまずは一番言いにくいクラブ運営の会計状況から見直さなければならないと思います。それでは、資料1～3に添って始めて参ります。

### 【資料1】ジャンプ40特別委員会報告資料(池山幹事作成)

(1)当クラブ一般会計の現状は、現行会費を1人あたり会費24万円+分担金5万円=29万円を頂いて、昨年度は1人あたり支出額は、799万/26人=31万円であり、すでに赤字。新入会員の入会金で何とか賄っている状態です。

(2)会計改善のための課題・方策として、収入の増と支出の減から検討した結果、週報印刷を廃止し、HP化を完成して、節減に効果。今後の検討課題を残し、又、ドラスティックな見直しは、現状では考えられず、当面は何としてでもの会員増強で対応していくかないとの結論が出ます。

(3)会員増強の効果については、30人、35人、40人の必要会費表から、やはり40人(出席率90%)を達成すれば一人当たりの必要金額が、25.9万円となり、29万円を大幅に節減できる効果が出てきます。

それでは、この効果あるものをどうすれば達成できるかの答えは資料2にあります。

### 【資料2】

H20年10月31日、会員増強委員会秋山委員長が会員増強、退会防止対策のアンケートをして、結果をまとめて下さったものです。

#### (1)会員増強対策アプローチ案

- ・1～3までは、とにかく1人も多くお声を掛けさせて頂く心構えの毎日をお願いします。
- ・4～14までは、当クラブの良さをアピールする具体的な内容です。
- ・15は落し物はないか、振り返りも必要です。(会員選考検討委員会)と優しくアプローチを教えて下さっています。

(2)会員退会防止については、1～6まで現在は対策済みで7は早速に機会を設けたいと思っています。

### 【資料3】

先日、地区研修委員会から頂いた冊子「ロータリーの心と実践」P.43「会員増強の意義」①～⑥までありますが、本クラブは概ねこの意義にピッタリと添って会員増強を進めてきています。ましてや、今年度はジャンプ40特別委員会も立ち上がりました。特記したいのは⑤にあります。”自分が受けた特典や感謝は出来るだけ友人、知人と分かち合うのが好ましいと考えられる”とあります。又、P.8「Service above Self(超我の奉仕)」の解釈、アンダーラインの部分。

私達のクラブはこのすばらしい理念で突き進んで来ております。正に「サービス第一、自己第二」のクラブです。具体的には、ロータリーXmasの奉仕からの感謝、感動は私達の宝物です。その宝物を独り占めしないで、一人でも多くの方に分かちあう為にも、秋山さん(資料2)のアプローチ案を自信をもってアピールして下さい。そのアピールできることが有り難い。有り難いから嬉しい。嬉しいから他人に言わずに置くものか。言わなれん。換言すると会員増強とは「超我の奉仕」に自ずとつながっています。

どうぞこの冊子や資料1、2を参考に頂き、一人でも多くの方にお声を掛けて頂くことが、ジャンプ40達成の近道と確信するところ。今後とも、ジャンプ40特別委員会にご協力ををよろしくお願ひ申し上げます。

4つのテスト / 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか